

# 施設整備の提案と寄付

## オリコンサル 交流の森リニューアルへ

美里町

さんが締結後の取り組みや検討内容を説明。

木と緑あふれる空間のレストラン、シェフによる地元食材をふんだんに盛り込んだ飲食メニュー、バーベキュー用品のレンタルといった内容も提案した。

美里町の宿泊施設「交流の森・交流館(同町木間塚)の新たな指定管理者、オリエンタルコンサルタンツ(本社・東京都渋谷区、野

のエントランスや中庭の改修などに寄付金を使用。4月21日のリニューアルセレモニーまでに改修を完了させる予定。

崎秀則代表取締役)は14日、同町に施設整備のための提案と250万の寄付を行った。

町南郷庁舎を訪れた野崎代表は「お客さまに喜んでもらえるサービス提供、地域連携、施設や町の魅力の情報発信を3本柱に、『おしゃれで自慢したくなるふるさと』をコンセプトとし取り組んでいく」と抱負。相澤清一

オリエンタルコンサルタンツは、公共施設などの社会基盤整備事業の計画や設計、運営管理などを行っている建設コンサル会社。同施設の指定管理を受け、同町と昨年10月に基本協定を締結した。4月から指定管理をスタートする。

町長は「地域住民や各団体と手を組んで、素晴らしいキャンペーンを描いてほしい。力を貸してもらおうと地域を発展させ、元気な町にしたい」と語った。

町は、高齢者や子どもも安全面に配慮した、より開放的な玄関口を目指し、管理棟前

このほか、同施設の館長を務める山本和幸



相澤町長(左から2人目)らに提案するオリエンタルコンサルタンツ社員